

【専修学校の質保証・向上に関する調査研究協力者会議】  
**河原学園 専門学校における職業教育の取組**

河原学園理事長 河原成紀

# 河原学園の概略

学校種	機関数	機関名
大学	1校	人間環境大学 ・学部 松山看護学部（愛媛県） 総合心理学部（愛媛県） 総合環境学部（愛媛県） 看護学部（愛知県） 心理学部（愛知県） 環境科学部（愛知県） ・研究科 松山看護学研究科（愛媛県） 総合心理学研究科（愛媛県）※2026年4月開設予定 看護学研究科（愛知県） 人間環境学研究科（愛知県）
専門学校	10校 (45学科)	河原電子ビジネス専門学校、河原医療福祉専門学校 河原医療大学校、河原医療大学校 新居浜校 大原簿記公務員専門学校 愛媛校、河原デザイン・アート専門学校 河原外語観光・製菓専門学校、河原ビューティモード専門学校 河原アイペットワールド専門学校 河原調理専門学校（専門課程・高等課程） <b>※すべて愛媛県に設置</b>
高等学校	2校	未来高等学校（通信制高校、本校は愛媛県） 人間環境大学附属岡崎高等学校（愛知県）
幼稚園 こども園	4園	愛光幼稚舎、未来こども園、未来夢こども園、いよ未来こども園 <b>※すべて愛媛県に設置</b>
その他	1事業	社会人課程（資格の大原 愛媛校）

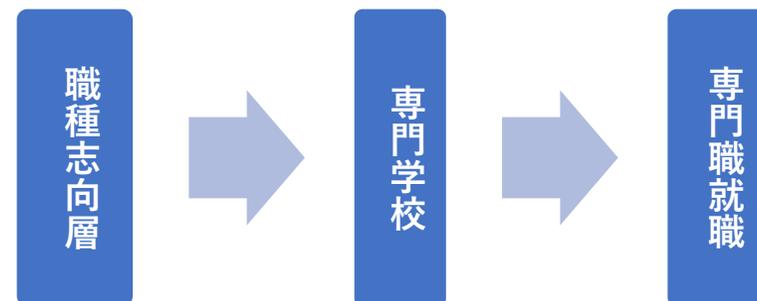
- 学校法人 河原学園は、**愛媛県と愛知県の二拠点**で運営（本部は愛媛県）  
 大学1校、  
 専門学校10校、  
 高等学校2校、  
 幼稚園/こども園4園、  
 その他1事業
- 大学と専門学校の両方を運営する愛媛県内唯一の高等教育機関
- 今年度の学生・生徒・園児の総数 **約8,600名**
- 専門学校（愛媛県）在籍学生の総数 **約2,400名**
- 専門学校1校あたり **約240名**
- 専門学校1学科1学年あたり **約22名**

# 職種志向層の進路を支える地域基盤 — 専門学校

## ● 高校生「なりたい職業」ランキング (N=1,764)

順位	なりたい職業	回答数	割合(%)	順位	なりたい職業	回答数	割合(%)
1	接客職	148	0.11	21	美容師	21	0.02
2	ものづくり職人	118	0.08	22	電子プロデュース	19	0.01
3	事務	96	0.07	23	映像クリエイター	17	0.01
4	イラストレーター	76	0.05	24	運転手	16	0.01
5	販売職	56	0.04	25	看護師	16	0.01
6	調理師	49	0.04	26	設備保全	11	0.01
7	公務員	44	0.03	27	設計・ものづくり	11	0.01
8	介護士	41	0.03	28	電気工事士	11	0.01
9	保育士	40	0.03	29	ネイリスト・エステティシャン	10	0.01
10	建設現場職	38	0.03	30	事務補助	10	0.01
11	企画	36	0.03	31	建築設計	10	0.01
12	デザイナー	35	0.03	32	クリエイティブディレクター	9	0.01
13	システムエンジニア	29	0.02	33	理学療法士	8	0.01
14	営業	27	0.02	34	スポーツインストラクター	7	0.01
15	配送ドライバー	25	0.02	35	ものづくりオペレーター	7	0.01
16	ゲームクリエイター	24	0.02	36	広報	5	0.00
17	理容	24	0.02	37	マスコミ	3	0.00
18	農林水産関係	23	0.02	38	コンサル・記者	3	0.00
19	ものづくりエンジニア	22	0.02	39	会社員	1	0.00
20	建設施工管理	21	0.02	40	弁護士	1	0.00

- 株式会社ジンジブが令和6年に職業体験イベント会場で実施した高校生対象の「なりたい職業」に関するアンケートによれば、「自分のやりたいことが見つからない」と回答した未定層が29.2%を占める一方で、具体的な職業名を挙げる層も一定数存在している。
- その中には、学歴や学術研究への関心ではなく「とりあえず大学」というのでもなく、特定の職種に純粋に関心をもった層が存在すると考えられる。
- 専門学校は、そうした明確な職種志向を有する層にとって、高校卒業後の進路を支える重要な地域基盤として機能している。**



# 専門学校における職種直結型の職業教育

## ●大学に次ぐ高校卒業者の進路としての専門学校

高校卒業者	大学進学	短期大学進学	専門学校進学	就職
9,631	5,296	274	1,563	1,793
構成比	55.0%	2.8%	16.2%	18.6%

出典：愛媛県『令和7年度学校基本調査結果について』

## ●多様な職種の人材を育成する本学の学科展開

(赤字は県内唯一の教育機関)

### 医療

看護師、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、**歯科技工士、診療情報管理士、柔道整復師、鍼灸師**

### 教育・社会福祉

介護福祉士、保育士、幼稚園教諭

### 衛生

美容師、**理容師**、エステティシャン、ネイリスト、ビューティーアドバイザー、調理師、食育インストラクター、パティシエ、プランジェ

### 商業実務

公務員、公認会計士、財務経理事務、ファイナンシャル・プランナー、医療事務、医療秘書、**キャビンアテンダント、空港グランドスタッフ、ツアープランナー、ブライダルプランナー、ホテルスタッフ**

### 工業

システムエンジニア、プログラマー、データベース・エンジニア、3DCGモデラー、グラフィックデザイナー、イラストレーター、映像クリエイター、VFXアーティスト、建築士、CADオペレータ

### 文化・教養

eスポーツ選手、プログラマー、マンガ家、愛玩動物看護師、飼育員、トリマー、ブリーダー、ドッグトレーナー、声優、俳優、アナウンサー

- 専門学校は、工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養の八つの専門分野で教育を展開。愛媛県全体で見ると、大学進学偏重という逆風の中にあっても、**大学に次ぐ規模の入学者を受け入れている。**

- 本学では、看護学科、理学療法学科、介護福祉科、美容学科、会計学科、ITエンジニア科、調理科といった基幹的な職種に対応する学科に加え、eスポーツ学科、ネット動画クリエイター学科、声優タレント学科等、**新興分野・新職種に関わる学科まで、多様な職種の育成に対応。**

- 一方で、定員充足率が60%を切る小規模学科も少なくなく、経営効率の観点から見れば極めて非効率であるが、地域産業を支える人材育成の拠点として、**赤字を伴う小規模学科であっても維持せざるを得ない側面**を有している。

# 学生の到達水準を担保する教育管理体制

## ● 入学前サポート・リメディアル教育・コマシラバス・小テスト・補習による質保証の教育体制

**コマシラバス (コマ単位の授業計画)**

**小テスト**

**自動採点**

**補習**

**授業評価**

**授業改善**

小テスト得点の標準偏差を算出し、基準からの乖離の大きさにしたがって、S・A・B・C・D・Eの6段階で授業を評価

科目名	平均	標準偏差	SE評価	評定
イラストレーション技法Ⅲ	23.3	12.3	E	C
3Dデジタル表現Ⅱ	23.3	12.3	E	C
3Dデジタル表現Ⅲ	23.3	12.3	E	C
GNSマーケティング運用・実	17.4	6.4	D	D
	1.5		S	S
	7.2		D	D
	9.7		B	B
	2.4		A	A

- 本学専門学校では、勉強に慣れていない学生も多く受け入れることから、入学前サポートとして**記憶促進アプリ**を提供し学習準備を案内
- 本学独自の教育管理の仕組みにより、授業の到達水準を担保し授業改善を推進
  - ① **個別最適型学習アプリ**によるリメディアル教育の実施
  - ② **コマシラバス**を全科目で用意  
(科目概要と、1コマ(90分)ごとの目標とプロセスを詳細に記述した授業計画書)
  - ③ Webシステムを用いて授業中に**小テスト**を実施。  
その場で自動採点し、**基準点以下の学生は放課後に補習**
  - ④ 小テストの点から標準偏差を算出し、標準偏差11を基準に、そこからの乖離の大きさに応じて、毎コマの授業をS・A・B・C・D・Eの6段階で評価。  
この評価を元に**教員の授業を改善する活動**を実施

# コマシラバスと小テスト（1） — 国立H大学文学部「西洋近世哲学史」のシラバス

## ①授業の目標・概要等

大陸合理論及びイギリス経験論からカント哲学を経てドイツ観念論へと至る西洋近代哲学の流れを概観する。近代哲学史の基礎知識を習得する。

**「基礎知識」とはどこまでの知識を指すのか？**

## ②授業計画

第1回 近代の始まり  
第2回 デカルト  
第3回 ホッブズ  
第4回 ロック  
第5回 ヒューム  
第6回 スピノザ  
第7回 ライプニッツ  
第8回 カント①－認識論－

重要な  
情報が欠落

第9回 カント②－道徳哲学と歴史哲学－  
第10回 ドイツ観念論とは  
第11回 フィヒテ  
第12回 シェリング  
第13回 ヘーゲル①－体系構築までの歩み－  
第14回 ヘーゲル②－哲学体系について－  
第15回 総括 期末試験

## ③成績評価の基準等

期末試験（レポートの場合あり）

**「デカルト」「ホッブズ」「ロック」等について何をどこまでどのように教授するのか？**

**学生に何についてどれほどの知識を求めるのか？**

# コマシラバスと小テスト (2) — 河原学園 授業改善の仕組み

- シラバスが、単に科目選択上の便宜を学生に提供するためのものではなく、授業品質の保証/向上、授業改善に寄与するものであるためには、**1コマごとの授業計画、つまり、1コマごとの授業目標（何をどこまでで教えるのか）と授業構成（どうやって教えるのか）を明確にしておく必要がある。それが「コマシラバス」。**
- コマシラバスを参照物として教員・学生が共有して授業を行えば、教員自身だけでなく学生も計画通りに授業が実施されたかを検証できる。教員の自己反省だけでなく学生アンケートによって学生による授業評価も取り出しやすい。
- さらに、授業の目的は「授業を実施すること」ではなく、授業目標とした知識・技術を、目標とした水準で、学生に修得させることにあるのだから、実際にその目的を果たせたかどうかを可視化する。**そこで、授業終盤に小テストを実施し、学生の理解度（=教員の授業能力）を測定する。**
- 小テストで一定水準に達しなかった学生は放課後に補習を行う。
- 他方、われわれの知見では、授業の上手下手は小テストの得点分布（の標準偏差）に現れる。**100点満点で標準偏差11を目標値とし、そこからの乖離1.5刻みで、SABCDEの6段階で1コマ単位で授業品質を評価する。**授業品質の問題の多くは、授業の参照物であるコマシラバスとそれを反映した授業教材にあるとし、コマシラバスと授業教材を改善することによって授業品質の改善をはかる。



# 本学のコマシラバス（1）

— 3部から構成されるコマシラバスのフォーマット

- 本学の「コマシラバス」のフォーマットは、  
①科目概要、②各回の授業計画、③履修判定指標の3つのパーツから構成される。

## ①科目概要

**一般的な大学/専門学校「シラバス」に相当する。**

開講学年・学期、科目名、単位数、授業形態、必修/選択の区別、前提とする科目、展開科目（後続する科目）、関連資格、担当教員名、ディプロマポリシーとの関係、カリキュラムポリシーとの関係、カリキュラム全体の中での当該科目の位置づけ、科目の目的、到達目標、科目の概要、科目のキーワード等について記述する。

## ②コマごとの授業計画

**1コマ90分授業の目標と構成を記述する。授業のコマ数分作成する。** 各回の授業について、コマ番号、主題に加えて、主題を分割した副主題、副主題ごとの詳細な内容と構成、キーワード、復習・予習の課題、使用する参考文献等を記述する。

## ③履修判定指標

**この科目の最終的な学修目標を示すとともに、この科目で単位認定するための基準を10個の項目で示す。** 各項目について、理解すべき主題、その主題に含まれる範囲と理解しておくべき水準、配点、関連する授業コマの番号等を記述する。これにより、単位認定試験（期末試験）までに学生がどのくらい勉強すればよいかの目安にもなる。

区分	ディプロマ・ポリシーとの関係				
科目コード					
学年・期	カリキュラム・ポリシーとの関係				
科目名					
単位数	カリキュラム全体の中でのこの科目の位置づけ				
授業形態					
必修・選択	科目の目的				
学習時間					
前提とする科目					
展開科目					
関連資格	到達目標				
担当教員名					
	科目の概要				
	科目のキーワード				
	授業の展開方法				
	オフィス・アワー				
回	主題	コマシラバス項目	内容	教材・教具	
1		科目の中での位置付け			
		コマ主題細目			
		細目レベル			
		キーワード			
		コマの展開方法			
		小テスト			
		復習・予習課題			
履修判定指標	履修指標	履修指標の水準			
	①		キーワード	配点	関連回
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
⑩					

# 本学のコマシラバス (2) — 科目概要の主要部 (「情報リテラシー I」の例)

## 科目の目的

スマートフォンやパソコン等の情報通信技術 (Information and Communication Technology) が日常生活に広く浸透している現在、情報通信技術の活用を生産性向上に結びつけていくことが社会全体で大きな課題となっている。スマートフォンの世帯保有率が80%を超え (総務省『令和3年版 情報通信白書』)、多くの国民が情報通信技術に慣れ親しむ社会環境でありながら、経験を積んだ社会人でもワープロソフトの操作に苦労したり、メール送信の際に不用意に個人情報を出してしまったり等、情報通信技術の普及浸透の反面で、いまだ情報通信技術を十分に活用できているとは言えない状況である。しかし、今日の大学生活では学業推進も就職活動も情報通信技術の活用が大きく依存している。たとえば、ワープロソフト操作の習熟度が作成するレポート・論文の品質を左右することがある。ワープロソフト操作のスキルが高ければ高いほど、それだけ本文データの完成度を自分の知力の限界にまで高めていけるからである。就職活動についても説明会参加申し込みから簡易試験受験までWeb上の操作だけで完結できるようになりつつある。その結果、パソコン操作の誤りが受験機会喪失や採用選考不合格に直結することさえ起きている。以上のことから、本科目では大学生活にも就業後実務にも役立つことの多い情報機器としてパソコンを取りあげ、ワープロソフトの理解を中心にソフトウェア利用の習熟をはかる。

## 到達目標

自分のノートパソコンを使用し、Web上から必要な情報を取得しつつ、図表の掲載を含み、章節構造をもったレポート等の文書をMicrosoft Word (以下「Word」) を用いて作成することができる。

## 科目の概要

具体的には、第1回目から第5回目ではパソコン実機環境の構成要素について、第6回目から第13回目ではWordの操作体系と文書作成方法について、第14回目と第15回目はWeb環境における情報活用と関連法令等についての基礎知識を修得する。

## 科目のキーワード

基本/応用ソフトウェア、IME、ドライブ/フォルダ、文字、段落、セクション、図表、クラス/メンバー、アウトラインモード、Web環境

## 授業の展開方法

本科目では、一コマ90分のなかで解説と実習を交互に織り交ぜ、概念的な理解と具体的な操作を幾重にも重ねながら、実務的なソフトウェア理解を目指す。そのため、各自実機 (ノートパソコン) 持参のうえでの授業参加を求める (なお、教室に人数分の充電環境は用意できないため、各自フル充電をすませてから実機を持参すること)。授業の進め方は、まず講師が主題となるソフトウェア機能の目的、特徴、効果を概説し、それを踏まえて学生各自がテキストに掲載のパソコン操作画面に沿って実機操作を行うという手順で行う。

- **一般的な大学/専門学校の「シラバス」に相当する。**
- 科目概要は主に「科目の目的」「到達目標」「科目の概要」「科目のキーワード」「授業の展開方法」からなる。
- 「科目の目的」では当該科目の設置がどのような社会的背景、学術的背景、他科目との関係にもとづくものであるかを解説する。
- 「到達目標」はどのような知識・技術を修得するかを端的に示す。
- 「科目の概要」は、全回 (この例では15回) の授業がどのように構成され、どのように接続されているかを示す。
- 「科目のキーワード」は、当該科目では、どのような概念の理解が必要になるかを示す。
- 「授業の展開方法」は、毎回の授業がどのような工程で進行するか、どのようなICT機器を利用するか、受講にあたって毎回どのような準備が必要になるか等について示す。

# 本学のコマシラバス (3) — 授業計画の主要部 (「情報リテラシー I」の授業一回分の例)

## 【コマ主題細目】 ←

① 〈段落〉書式の概要 ←

② 〈揃え〉と〈インデント〉 ←

③ 〈段落番号〉 ←

←

## 【細目レベル】 ←

① 前回授業で扱った〈文字〉は表記された「文字」の日常的理解とほぼ同義のため理解しやすかった。また、〈文字〉の書式は、文字の書体(フォント)、フォントサイズ、フォントの色といった文字の外観にかかわるものが大半であり、これも表記された「文字」の属性として違和感のないものである。しかし、Wordの〈段落〉は、「段落」の日常的理解とは異なり、〈段落記号〉を末尾にもつ文字列が〈段落〉であり、Enterキーを押して画面上に〈段落記号〉を入力することで新しい〈段落〉を作成できるという人工的な単位である。さらに、〈段落〉の属性には、「揃え」、「インデント」、「ぶら下げインデント」、「段落番号」といった書式があり、おもに紙面上の配置にかかわるものが多く、これも「段落」の日常的理解からは想像しにくいところがある。こういった点を踏まえたうえで、文書内でEnterキーを押し、新たな段落が作成される様子を実機で確認しながら、Wordで文章を作成する際に重要な単位となる〈段落〉について理解する。 ←

←

② 段落書式のうち〈揃え〉と〈インデント〉について学修する。段落書式のなかでもっとも利用頻度の高い書式が揃えとインデントである。〈揃え〉には左揃え、両端揃え、中央揃え、右揃えがあり、それぞれの意味と利用する場面(文書タイトル、文書作成者氏名、本文を記載する場合等)を理解したうえで、実機操作を交えながら操作方法を確認する。インデントについては、スペースを多数入力し、段落冒頭の位置を右方向にずらすことでインデントの代用とする誤用が広く蔓延している。そのため、文書中の段落の冒頭位置を左右に調整する作業に余分な手間を発生させることが多い。インデントを正しく

「情報リテラシー I」の第7回授業  
(主題「Wordにおける段落の操作」)の構成

- コマシラバスの中で最も重要なのがこの部分。**コマごとの目標と構成**を明記する。
- その回の授業の「主題」を副主題に分割したものが「コマ主題細目」である。コマ主題細目が3つある場合は一つの副主題の解説に25分程度を要することを想定する。
- 「細目レベル」は「コマ主題細目」と一対一で対応し、何についてだけでなく、どこまで、どうやって理解させるかを明らかにする。
- 左図の例では、Wordの〈段落〉及び〈揃え〉、〈インデント〉といった概念について、どのようなことまで理解させるのか、パソコン実機をどのように用いながら理解させるのかを示している。
- 左図には掲載していないが、コマシラバスには他にも、各回の「当該科目における位置づけ」、「キーワード」、「予習・復習課題」、「参考文献のページ参照」を記述する。
- 各回の授業について、これだけの情報が明らかになれば、**学生の予復習の役に立つだけでなく、授業終了後に授業が計画通りであったかを学生も評価できるようになる。**その結果は、学期末の科目別学生アンケートに反映され、教員評価の一材料となる。



# 本学のコマシラバス (4)

## — 履修判定指標 (「情報リテラシー I」の例)

履修指標	履修指標の水準	キーワード	配点	関連回
①ソフトウェアとハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTという用語の意味を理解している。</li> <li>「パソコン」「ハードウェア」「ソフトウェア」の意味を理解している。</li> <li>入力装置/出力装置の意味を理解している。実習用/パソコンに用いる入力装置/出力装置にはどのようなものがあるかを理解している。</li> <li>補助記憶装置の意味を理解している。実習用パソコンに用いる補助記憶装置にはどのようなものがあるかを理解している。</li> <li>基本ソフトウェア (オペレーティングシステム) と応用ソフトウェア (アプリケーションソフトウェア) の関係を正しく理解できている。</li> </ul> <p>※いずれも選択肢のなかから正しいものを選択できること。</p>	入力装置、出力装置、補助記憶装置、基本ソフトウェア、応用ソフトウェア、SSD、USBメモリ、Windows11、Microsoft365	6	1
②キーボードのキー配置とWindowsの日本語入力環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームポジションの目的と意味を理解している。</li> <li>Windows上の日本語入力環境を構成するIMEと、応用ソフトウェアとの関係を正しく理解している。</li> <li>IMEを用いないと入力できない文字種を理解している。</li> <li>全角入力/半角入力の区別を理解している。</li> <li>Shift (シフト) キーを押さないと入力できない文字種や記号を理解している。</li> <li>IMEによる文字入力の諸段階 (文字入力 (変換前)、変換後 (未確定)、確定後) でそれぞれどのような操作が可能かを理解している。</li> <li>変換後 (未確定) の状態では、入力された文字が文節に区切られ漢字に変換されている。このとき「文節」の意味を理解している。</li> <li>後変換の意味と操作するタイミングを理解している。</li> <li>文節長を変更する目的と実際の操作方法を理解している。</li> <li>IMEの単語登録の機能の用途と操作方法を理解している。</li> </ul> <p>※いずれも選択肢のなかから正しいものを選択できること。</p>	ホームポジション、IME、Shift (シフト) キー、全角/半角、文節、漢字候補、後変換、文節長、単語登録	12	2、3、5
③Windowsのファイルシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブ、フォルダ、ファイルの関係を正しく理解している。</li> <li>他のシステムとデータのやりとりを行う場合の手段 (USBメモリ等) と注意点 (ファイルシステムの相違に起因する問題) について理解している。</li> <li>ファイルの移動 (切り取りと貼り付け) の操作方法を正しく理解している。</li> <li>削除操作とゴミ箱の関係について正しく理解している。</li> </ul> <p>※いずれも選択肢のなかから正しいものを選択できること。</p>	ドライブ、ドライブ文字、フォルダ、ファイル、ファイルシステム、ゴミ箱、切り取り、貼り付け	8	4、5

- 期末試験で問われる項目を配点とともに10個挙げ、それぞれについて何をどこまで理解できていれば得点できるかを明示する。
- 各項目は「履修指標」「履修指標の水準」「キーワード」「配点」「関連回」からなる。
- 「履修指標」が項目で、それについて、何をどこまで理解できていればよいかを示すのが「履修指標の水準」である。
- 「履修指標の水準」では、記述形式での解答を求めるのか選択形式での解答を求めるのか、記述形式の場合は何文字程度の解答を求めるのかについても明示する。それによって、**この科目で単位を取得するためには、日頃からどの程度の学習を必要とするのか、その目安を示すことができる。**
- 試験後の学生アンケートではこの通りの出題であったかどうかを回答してもらう。

# 本学専門学校の昨年度の進路決定率・就職実績の質

## ●河原学園専門学校 令和6年度 進路決定率及び関連分野就職率

昨年度の卒業者の**進路決定率は99.1%**。

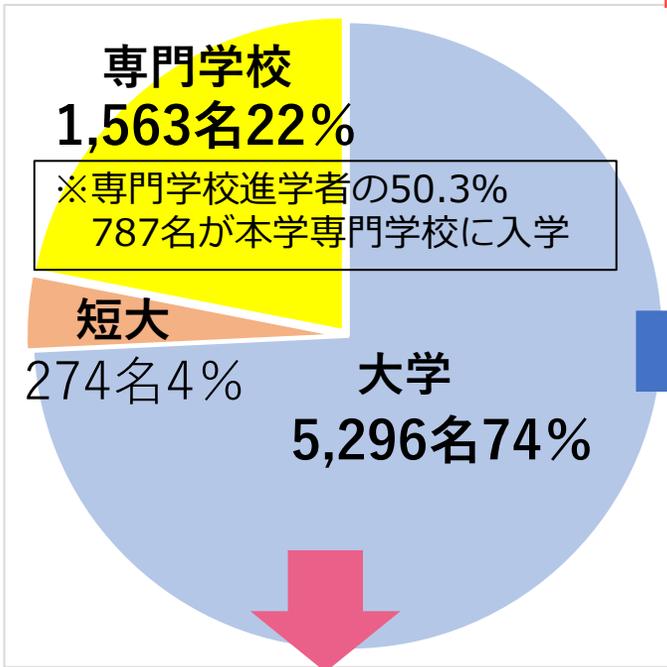
しかも、卒業者の**89.4%**が教育内容に直結した**関連企業や関連職種で就職**

河原学園内専門学校	標準修業年限内 卒業生数	就職者＋ 進学者数	進路決定率	関連分野 就職者	関連分野 就職率	代表的な就職先県内企業
河原電子ビジネス専門学校	131	129	98.5%	97	74.0%	(株)いよぎんコンピュータサービス、三浦工業(株)、シブヤ精機(株)、(株)システナ
河原医療大学校 新居浜校	49	49	100.0%	48	98.0%	住友別子病院、西条中央病院、愛媛医療生活協同組合、新居浜協立病院
大原簿記公務員専門学校 愛媛校	97	96	99.0%	95	97.9%	(税)山田&パートナーズ、(税)片山会計、(株)伊予鉄グループ、トヨタカローラ愛媛(株)
河原デザイン・アート専門学校	133	130	97.7%	90	67.7%	セキ(株)、IBGメディア(株)、(株)愛媛銀行、(株)一宮工務店
河原医療福祉専門学校	140	140	100.0%	127	90.7%	済生会、株式会社マルク、メディカルアース(株)、だいふく鍼灸整骨院グループ
河原アイペットワールド専門学校	53	52	98.1%	47	88.7%	ペットサロン松山、(株)ひごペットフレンドリー、(株)アミーゴ、イオンペット(株)
河原ビューティモード専門学校	86	86	100.0%	82	95.3%	(株)ジープ、(株)ラソ、(有)アルジャーノン、(株)IDA
河原外語観光・製菓専門学校	93	92	98.9%	88	94.6%	(株)四国シキシマパン、(株)ANAエアサービス松山、(株)ベルモニー、愛媛大学附属病院
河原医療大学校	129	129	100.0%	129	100.0%	松山赤十字病院、県立中央病院、愛媛大学附属病院、伊予病院
河原調理専門学校	12	11	91.7%	11	91.7%	マリベールスパイア、道後御湯、中華旬菜、きよみず
合計	911	903	99.1%	814	89.4%	

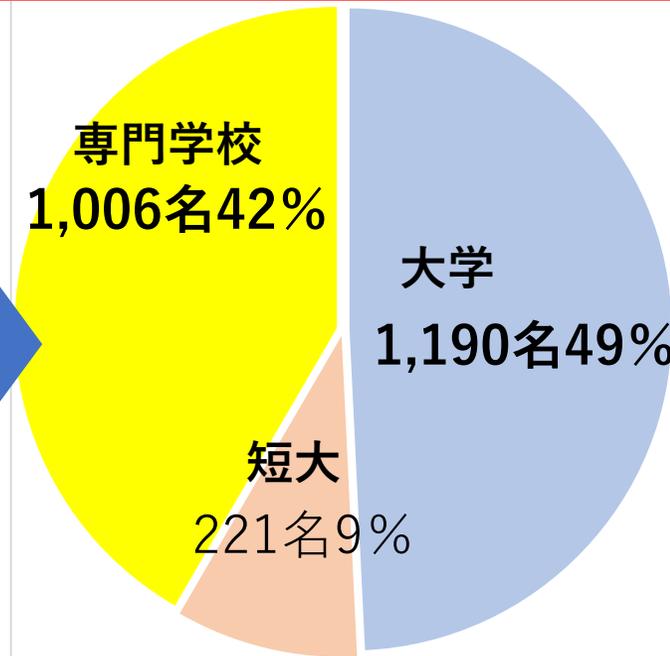
# 地域人材の育成・供給拠点としての専門学校

## ●大学短大専門学校進学者と県内企業新卒就職者の構成

【A】愛媛県 令和6年度3月  
県内高校卒業者の進学先別内訳



【B】愛媛県 令和7年度4月  
県内企業新卒就職者のうち  
県内高等教育機関出身者の学校種別内訳



【C】大学進学者の63.9% 3,384名が  
県外大学に流出

- 愛媛県の調査によれば、令和6年3月の県内高校卒業者のうち、高等教育機関への進学者は7,133名。その内訳は、**大学が5,296名（74.2%）、専門学校が1,563名（21.9%）**。
- 一方、令和6年4月の県内企業新卒就職者のうち、県内高等教育機関出身者の内訳は、**大学が1,190名（49.2%）**であるのに対し、**専門学校は1,006名（41.6%）**。
- 大学進学層では進学時に県外への大規模流出があり、さらに県内大学残留層であっても、なお新卒就職時に大きな県外流出が発生する。**愛媛県の専門学校は、大学よりも歩留まりの高い県内人材供給を行っている。**
- なお、人口減少率の高い都道府県の上位3分の1の地域では、県内専門学校入学者数の割合が高いほど人口減少率が低くなるという相関係数0.27(※)の弱い相関が見られる。  
※①都道府県別の2020年から2025年の人口減少率、②都道府県別の2020年から2024年までの高校卒業者数に対する県内専門学校入学者数より算出

出典：

【A】愛媛県『令和7年度学校基本調査結果について』

【B】旺文社『教育情報センター2025年度 都道府県別大学・短大 進学状況 愛媛県』※流出率のみ参照

【C】愛媛労働部・私学文書課による令和6年度3月卒業者の就職先調査結果

# 産官学連携による地域人材育成基盤の形成（1）

## ～歯科衛生士・歯科技工士の育成～

1

### 愛媛県立専門学校からの 事業継承

愛媛県砥部町で、歯科衛生士・歯科技工士の育成を担ってきた愛媛県立歯科技術専門学校が平成22年3月をもって閉校。

閉校にあたって愛媛県歯科医師会から歯科医療人材養成施設設置の要請があり、**河原医療大学校内に歯科衛生学科・歯科技工学科を設置**するとともに、旧愛媛県立歯科技術専門学校教員の再雇用受け皿に。



2

### 愛媛県歯科衛生士修学支援 制度の発足

愛媛県下の歯科衛生士不足を受け、河原医療大学校の提案により、愛媛県と愛媛県歯科医師会が協議し、愛媛県から在学3年間で奨学金126万円を貸与する**歯科衛生士修学支援制度が平成28年度に発足**

（卒業後県内歯科医院に3年以上勤務で返済を免除）。

併せて地上波放送と県内全高校へのパンフレット配布等による積極的な広報施策を展開し、制度開始後松山市内の専門学校歯科衛生学科の定員充足率には顕著な改善が見られるようになった。

また、**これまで制度利用者の全員が県内歯科医院に就職**しており、地域定着の面でも成果が確認されている。

3

### 新居浜市内に歯科衛生士 育成の地域拠点開設

愛媛県新居浜市および周辺地域においては依然として歯科衛生士の不足が課題となっていた。

愛媛県歯科医師会をはじめとする東予圏域の関係団体および新居浜市からの強い要望を受け、愛媛県地域医療介護総合確保基金を活用するとともに、愛媛県歯科医師会からの寄付を開設資金の一部として、本学既存校舎の改修等の整備を実施。

**河原医療大学校新居浜校内に令和3年4月、入学定員24名の歯科衛生学科を開設。**

# 産官学連携による地域人材育成基盤の形成（2）

～介護福祉士の育成・空港関係人材の育成・地元観光産業の魅力啓発～

4

## 地域介護施設との連携による介護人材確保

入学者減に悩む河原医療福祉専門学校介護福祉科と、慢性的な人手不足の県内介護施設が連携し、学生・人材確保をはかるため、在学中の経済支援と卒業後の就業継続を一体的に設計した「**介護福祉士施設奨学金制度**」を導入。

在学中2年間で90万円の奨学金を施設より貸与、卒業後当該施設に5年以上勤務で返済を免除する。

この制度により留学生入学も促進され、留学生入学者（N4～N3レベル）は、令和元年度3名、2年度13名、3年度18名、4年度8名、5年度6名、6年度18名、7年度16名、8年度約25名（予定）と推移し、新型コロナ蔓延期を除いておおむね増加傾向にある。なお卒業時の国家試験合格率は、近年50%～86%。

5

## 愛媛県・松山空港関係企業団体との連携

松山空港では国際線拡充とインバウンド対応の強化のため多言語対応可能なグランドハンドリング人材の確保が急務の状況のところ、愛媛県からの要請を受け、**河原外語観光・製菓専門学校、松山空港利用促進協議会（会長中村県知事）及びANAエアサービス松山等で連携協定を締結。**

愛媛県から毎年1,000万円の支援を受け、それを「**学生向け給付型奨学金**」に充てる。令和8年度4月、**日本語学校卒留学生を受け入れるエアライン・観光科（1年制留学生対応）**を開設する。

今後グランドハンドリング人材育成とともに留学生の地域定着を図る。



6

## 愛媛県との連携による地元観光産業の魅力啓発

近年、観光関連学科で学ぶ学生において県外大手企業志向が強く、地元観光産業の魅力や具体的な職業像が十分に伝わっていないことが課題となっていた。

これを受け、河原外語観光・製菓専門学校では、愛媛県令和7年度「私立専門学校県内就職支援事業」を活用し、高校生対象の「愛媛県内日帰り体験型観光ツアー」を実施した。本事業は、セミナーおよび体験型ツアーを通じて、**県内観光産業への理解と関心を高めるとともに、県内専門学校の観光関連学科への進学促進および将来的な地元定着の推進を図る**ものである。

# 産官学連携による地域人材育成基盤の形成（3）

～アニメ制作人材の育成とアニメ制作会社の誘致～

7

## アニメ制作会社との連携によるアニメ制作人材育成拠点の設立とアニメ制作会社の誘致

国内コンテンツ産業において重要な役割を担うアニメーション産業については、愛媛県内に十分な学習・就業環境が整備されておらず、アニメ分野に高い関心を持つ県内高校生が県外のアニメ関連専門学校へ進学するなど人材流出が課題となっている。このような状況を踏まえ、河原デザイン・アート専門学校では愛媛県松山市と連携し、松山でアニメーションを学び、将来的に県内で就業できる環境整備の第一歩として「令和7年 まつやま未来コネクト実証事業」を実施した。

本事業では、県外アニメ制作会社と連携のもと、中学生・高校生・専門学校生を対象とした職業体験授業を全4回開催した。講義と動画制作（中割り）実習を組み合わせた実践的なプログラムとして、初級・中級・上級の3段階の教材を新たに開発した。各回40名、延べ110名（中学生4名・高校生76名・専門学校生30名）が参加し、事後アンケートでは97.1%という高い満足度を得るとともに、アニメ分野への進路意欲向上においても顕著な効果が確認された。

本事業で開発した教材は、今後も継続的に活用可能な教育資産となるものであり、これを活かして愛媛県内にアニメ教育拠点を構築するべく、令和9年度より「マンガクリエイター学科」を「漫画・アニメーション科」に改編する準備を進めている。加えて、本事業を通じて構築したアニメ制作会社との連携を基盤に、愛媛県内への制作スタジオ設立および地域産業の創出を目指している。



# 地域専門学校の持続的発展に向けた諸課題

## 1. 教員確保の問題

いくつかの分野で教員確保の問題が生じている。

とくにIT分野では顕著。ITの最新技術を教授できる人材が地方のIT企業にほとんど在籍しないため、大都市圏のIT企業から教員・講師を調達する必要がある。

しかし、IT人材不足の昨今、エンジニア職の賃金が高騰していることも影響し、**業界間・地域間の賃金ギャップ**から地方での採用はさらに難しくなっている。逆に基幹教員が大都市圏のIT企業に流出してしまうこともある。

現在は都内在住のITエンジニアや講師と契約し**遠隔授業を行っているが、クラス内の成績格差が拡大しやすいという問題**が生じている。

## 2. 教材開発の問題

専門学校の授業で使用されている「教科書」の多くは、一般向けに市販されている書籍が多く、必ずしも専門学校学生の学力水準に適合していない。そこで、授業の質を高めるには、教科書を補完する独自教材の開発が必要となるが、人員不足もあり**教材開発が進みにくいという問題**を抱えている。

また、職業教育のアップデートの観点から、**実務現場の変化に即応したカリキュラムの継続的な見直しが求められる**が、授業内容の再構成を伴うため、新たな教材の開発や既存教材の更新が不可欠となる。

前述のとおり教材開発が円滑に進まない状況にあることから、**結果としてカリキュラム改善が停滞しやすいという問題**が生じている。

## 3. データ不足の問題

今回この資料を作成するにあたり、学内データと突合せようと様々な省庁、自治体、民間機関等のデータを改めて収集したが、大学・短大と異なり**専門学校については詳細なデータを欠くことが多く、データ不足で精緻な分析や要因抽出が難しい**ことを痛感した。

いずれのデータも学校基本調査を基盤としているケースが多いが、大学・短大については比較的詳細なデータがそろっている。専門学校が果たす地域人材育成の役割がますます重要性を増していくなか、地域課題を的確に捉え専門学校を地域の維持発展により有効に活用するためにも、今後、学校基本調査の調査項目の見直しを検討してもよいのではないと思われる。

## 4. 地域連携の問題

地域の産官学の取組では、省庁の組織構造と関連するためか、大学を主体としたものと専門学校を主体としたものに分離する傾向があるように思われる。

確かに、大学と専門学校では地域で求められる役割が異なることも考えられるが、前述のように**県内産業への人材供給源の規模という点では大学と専門学校はほぼ同等**である。したがって、人口減少や人材流出等の苦境にある地方では、学校種の区別よりも、**大学と専門学校が同等の二軸として産官学連携の輪に加わるような大きな地域プラットフォームを形成すること**のほうが、産業振興や人材定着に大きな効果を生み出せるように思われる。ぜひ、そういった取組の推進をお願いしたい。

ご清聴ありがとうございました。